

## モンゴル近況 2018年7月

### 政治

- 1)第2回アジア防災閣僚会議がウランバートルで開催された。
- 2)国会においてタバントルゴイ炭田の開発促進対策案が承認された。  
この炭田の開発に弾みがつくことが期待される。
- 3)国会はMIATモンゴル航空や火力発電所等の27国営企業の民営化を審議中。
- 4)鉄道トランジット輸送の条件に関するモンゴル・ロシア政府間協定が議会で承認された。ロシア経由で第3市場へ輸送されるモンゴル製品は25年間に亘り税優遇措置が適用される。

### 経済

- 1)タバントルゴイ開発を担当するエルデネスモンゴリア国営会社は権益の30%を国際証券取引所に上場しインフラ整備の資金を調達する計画。
- 2)ソングノ地区からゴビ地区への水供給プロジェクトをデザイン・建設・運営・移転(DBOT)方式でコンセッション事業として実施する。
- 3)国際通貨基金IMFの理事会はモンゴルに3,691万ドルの融資を決定した。
- 4)経済連携協定の締結以後モンゴルは日本との貿易で赤字が続いている。日本の消費者のニーズに合わせる必要あり。

### 社会

- 1)インド政府の10億ドルソフトローンでドルノゴビ県で建設される製油所の起工式が行われた。

### 教育文化

- 1)7月13日―15日間 国民祭ナーダムが開催された。30km競馬、相撲、弓の競技が国レベルの技術、規模で競われた。